

【中央区(ささえりあ白川・水前寺エリア)】

第2回在宅医療・介護に関わる多職種連携研修会

「多職種連携のちから」

【開催日時】 平成26年4月24日(木) 19:00~21:00

【開催日時】 ウェルパークくまもと1階会議室

【内 容】

グループワーク「お互いを知ろう」パート2
架空の事例をもとに多職種の役割を
話し合いました



夫 (亡くして死亡)

A子さん (90歳)

同居中 (市営住宅で3人暮らし)

【性 格】

- 若い頃に夫を亡くし、女手ひとつで娘を育て上げた自負がある。
- 近所の方からは「やさしいリーダー格」

【基礎疾患】

- アルツハイマー型認知症
- 多発性脳梗塞

【経 過】

- 誤嚥性肺炎を起こして入院したことがある

夫 (60歳)

B子さん (娘、60歳)

【性 格】

- せっかちで心配性な性格

【介護環境】

- 主介護者
- 週3回 10時~18時パート就労、同居開始。
- 5年前に母親が要介護状態となり、同居開始。
- 夫は最近、早期退職をせられ、仕事をかけもち、介護を協力できる状況にない。

在宅での生活の様子

A子さん

【移 動】 屋内を這って移動

【療 養】 介護ベッドよりも、もともと使用していた布団を好む

【食 事】 もともと普通食をむせながら摂取していたが、誤嚥性肺炎を起こしてからはミキサー食となる(水分にとろみ必要)。しかし、娘が用意したミキサー食を食べようとしない。

B子さん

出来る限りの介護をしているが、母親が言うことを聞かず、ストレスを感じている。

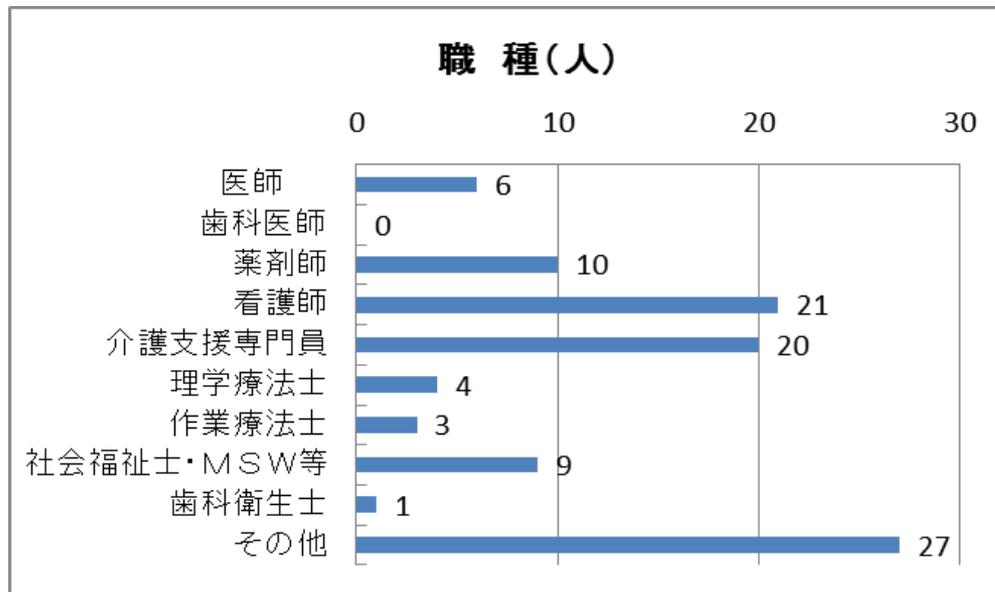
参加者 110名(中央区の関係者中心)

・ 医師	6人	・ 薬剤師	10人	・ MSW等	4人
・ 看護師	20人	・ 理学療法士	4人	・ 相談員等	9人
(内訳) 病院	11人	・ 作業療法士	3人	・ 社会福祉士	2人
診療所	4人	・ 歯科衛生士	1人	・ 介護福祉士等	5人
訪問看護ステーション	4人	・ 栄養士	1人	・ 区役所	1人
その他	1人	・ 介護支援専門員	22人	・ その他	22人

研修会後のアンケート

回答数 101 (回答率 92%)

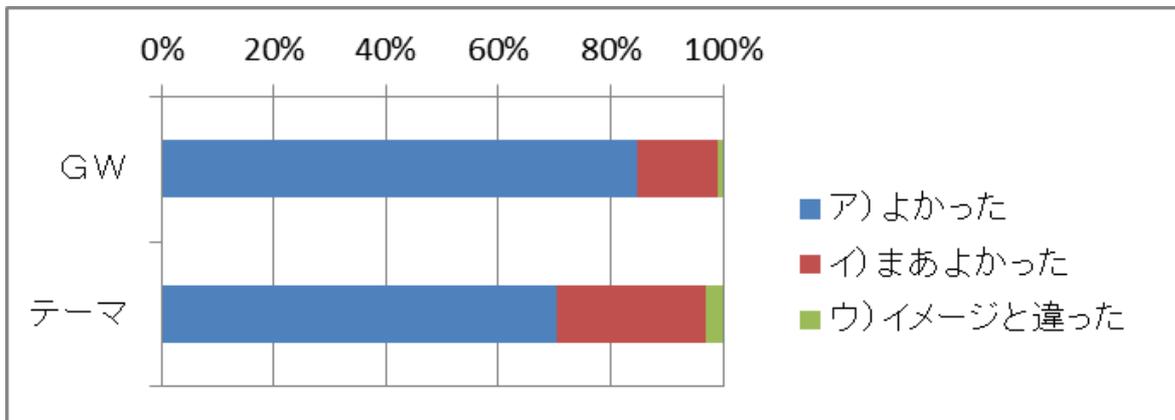
1 回答者



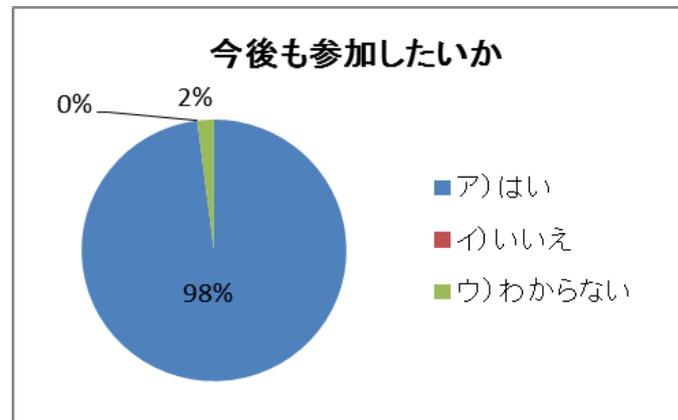
3 今回の研修会で新たに知り合った人数

平均 5.7人

2 プログラムについて



4 今後も参加したいか



4 研修会に関するご意見・ご感想 (一部抜粋)

- 在宅医療、療養に非常に興味がある為この分野の研修会に是非とも参加したい
- これから始めてみたい。介入したいと思う患者は多い
- 薬剤師への利用をもっとしていただきたい
- いろいろな事業所の方ともっと知り合いになりたい
- 多職種との繋がりが出来てとても良い。様々な意見を聞いて良かった
- 他職種の人との出会い、情報共有することが大切だと思った
- 立場が違う人と話すことで違った視点が見えてきて良かった
- 自分の病院での取り組みを地域の方に伝えられて良かった
- 多職種の意見がたくさん出た。知識が増えて嬉しい
- 他職種の方の考え、重視することなど良く分かり大変勉強になった
- 今回のグループワークはとても勉強になり良かった。小さな輪で多くの職種が集まり活発な意見交換ができた
- 参加して本当に良かった
- 今後もこの様な研修会を企画してもらいたい
- 医師にもっと参加してほしい
- 医師の参加が少なくなっているような気がする
- 事例のニードの基本資料をもう少し詳しく提供していただきたい